

賛助会員の皆様へ

一般社団法人 北辰会 ガイダンス

hokushinkai.info

内容

1. 北辰会方式を学ぶ前に	2
2. 組織図	3
3. スタッフ会員について	3
1) スタッフの仕事内容	3
2) スタッフ会員の特典	4
3) スタッフの選抜方法	5
4) スタッフ会員の募集について	5
4. 北辰会指定図書・推薦図書	5
5. 定例会・研修会への参加について	7
6. 研修と見学	8
1) 藤本漢祥院での研修および見学	8
2) 当会指定の治療院での研修について	9
3) 指定治療院見学について	10
7. 見学・研修を希望される皆様へ	11
研修 申請書	13
見学 申請書	14



1. 北辰会方式を学ぶ前に

北辰会理念

「北辰会は東洋医学の立場でどのようにしたら病を癒せるかということ、『学』と『術』の両面から追求して来ました。今や人の“体”と“心”と“魂”を救うのは東洋医学思想でないとだめであるということを確認しております。その観点から我々北辰会は、東洋医学思想を見つめ、それによって一致団結し、本当の意味での人類の健康と平和を守る立場にあると確認しております。

北辰会は単なる学問の研究手段ではなく、学習集団でもなければ単なる病気治しの術（テクニック）を追求する学派でもありません。もちろんそのような面もありますがそれは結局のところ根本を離れた枝葉であります。我々が根本的に追求する最も重要な事は、**どうしたら人の“体”と“心”と“魂”を救う事ができるか**という事であると考えます。我々と西洋医学との関わりはどうかと言いますと、従来は、西洋医学が医学ならば、我々の東洋医学もまた医学であると言ってきましたが、今やそうではなく、東洋医学こそが本当の医学であると確信しております。ですから、東洋医学を中途半端な学問として、また技術として取り組むならば、それは真の東洋医学でも無ければ、まして人の“体”と“心”と“魂”を救う事も、到底できないと考えています。」

本来の鍼灸は立派な「医学」です。

北辰会は、藤本蓮風会長を筆頭に、臨床実践から理論へ、そして理論から実践応用を繰り返すことによって、いまなお、発展し続けています。

昨今、北辰会方式の学術書や一般向け啓蒙書の出版ラッシュを経て、さらにはオンラインで学べる「eラーニング」システムが充実して参りました。会員の皆様におかれましては、書籍を読むだけでなく、動画を観ることでさらに多くを学ぶことができるとはいえ、全てを網羅するのは骨が折れると思います。

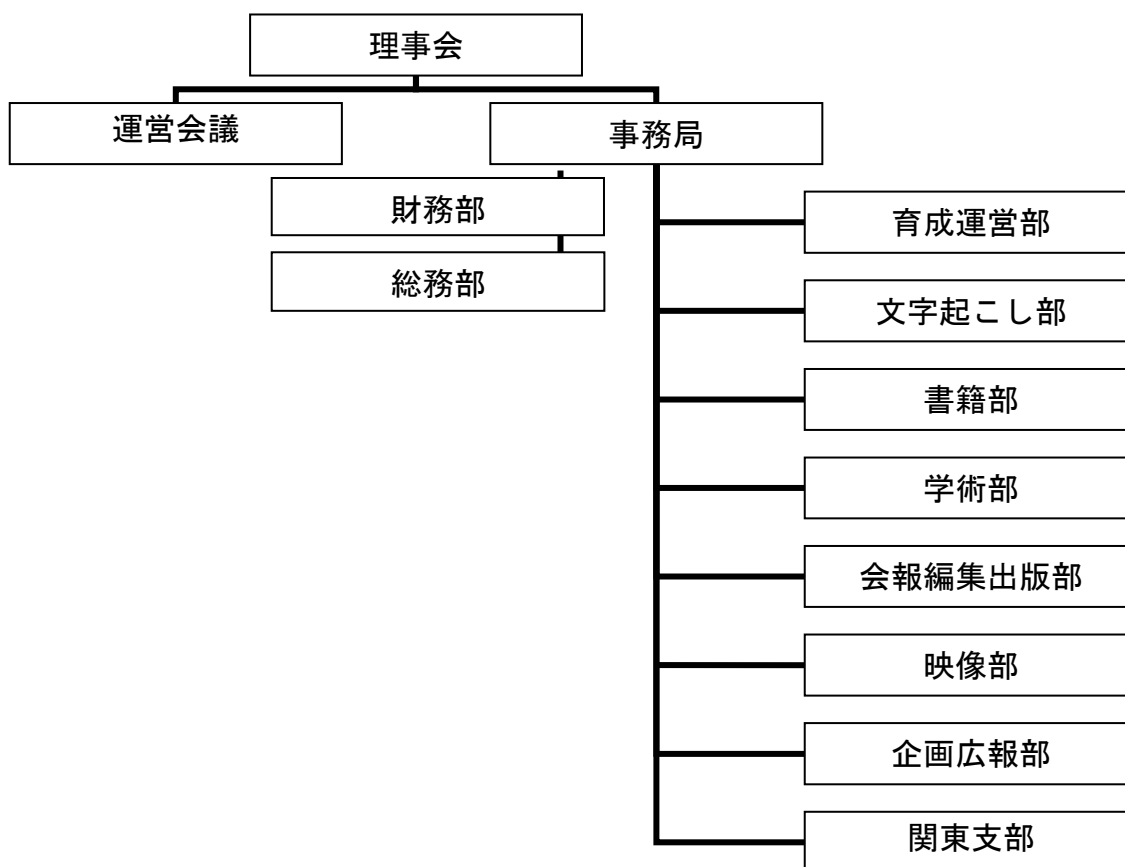
しかし、「医学」であるからこそ学ぶことがたくさんあるのです。

医学としての北辰会方式を学ぶにあたって、以下の点がポイントです。

- ① 紙面や動画だけで学べないことは 学べる間に貪欲に学ぶ。
藤本蓮風会長の臨床現場、藤本蓮風会長の鍼を生で体験してみることはプライスレスな勉強です。（藤本漢祥院見学の申し込み方は P.8 参照）
- ② 実技能力をアップさせる秘訣は、日常のなかにあります。どの流派であってもそうです。受講後、日々の生活の中でどれだけ「手」をつくる努力をするか、感覚を磨くか、これはまさに自助努力以外の何物でもありません。
- ③ 必携図書や eラーニングの動画を基に、自身でまとめていくことが一番の勉強法です。
講義資料をあてにしているのは実力は伸びません。動画を眺めているだけでも同様です。
- ④ 学術内容や勉強方法についての質問や研修に関する質問などは、育成運営部までお願いいたします。

最後に、当会の運営を支えてくださるスタッフ会員の皆様、講師陣、その他、関係者の皆様の見えない努力とご尽力あつての北辰会です。ここに深謝し、これからも、会員の皆様のご協力を賜りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 組織図



3. スタッフ会員について

【本部会員】

本部会員で定例会の全回実働できる方限定となります。

【支部会員】

下記2)の④が条件となります。

北辰会は、定例会や大研修会、eラーニングなどの運営にあたり、ハード面・ソフト面で様々な仕事がリンクし合いながら成り立っています。

※感染症対策などにより、定例会・研修会の開催状況が変わる場合は以下の限りではありません。その場合には、随時更新した情報を別途配信いたします。

1) スタッフの仕事内容

【定例会や大研修会、ライブ配信の運営関係】

スタッフ名	仕事内容
設営運搬	定例会・研修会での会場設営・撤収（レンタカーを使用しての機材の運搬業務を含む）及び照明や音響、空調の管理など運営全般に関する業務。
司会	定例会・研修会・ライブ配信などでの司会に関する業務。

書籍販売	定例会・研修会会場における書籍の販売業務。※オンライン販売のみの年度もあり。
映像（撮影）	定例会・研修会でのスライドの映写、講義および実技の撮影。ライブ講義の配信など。
受付（会員・聴講）	定例会・研修会での受付業務全般。アンケート集計など。
企画広報	ブログ・FB・Instagram などでの情報発信、説明会や大型研修会の企画運営、チラシ作成や学校などへの広報活動など。
育成運営	カリキュラムの作成、定例会の運営、動画学習ツールの管理など。

【定例会・ライブ講義以外】

ほくと編集	文字起こしや編集作業。PC 操作が中心。
定例会等文字起こし	定例会などの講義の文字起こし（支部スタッフを優先。）。
英訳補助	学術論文アブストラクトの英訳チェック。

2) スタッフ会員の特典

- ①単一部署のみの配属の場合、年会費 48000 円。
- ②複数部署兼任、文字起こしスタッフ・ほくとスタッフ・秘書課は年会費 2 万円。
- ③大型研修会やイベント企画では当日担当のスタッフに限り、参加費の減額（2000 円程度）を検討します（割引額は運営会議で審議し決定します）。
- ④運営委員のスタッフ会員と講師陣のみ、本部専属か支部専属かを分けます。
（支部会員は文字起こしや編集関係に加えて複数部署兼任の場合に、正規スタッフとして登録します。但し、支部映像部スタッフは単一部署でも可。）
- ⑤毎年 1 回開催される「役員講師研修会」へのスタッフの参加権は原則認められなくなります。（ただし、講師でない部長は無料で参加できます。また、当日実働の本部の映像・運搬・設営スタッフ、および文字起こし・ほくと編集・新刊書籍編集・秘書課スタッフには格安で参加権が与えられます。）
- ⑥部長・副部長・課長の夏季研修会の参加費は半額となります。
- ⑦著作編集スタッフは仮登録という形で、会費は一般会員もしくは役職（講師や部長課長、他部署兼任の場合の）に応じた会費額となる。年度途中で、仕事が発生した場合は、翌年度（2024 年度）の会費減額で調整する。

※全部署スタッフは、添付文書の閲覧や送受信できる環境が整っていることが大前提となります。

選考結果は、12 月上旬に担当部署の長から連絡いたします。毎年 1 月～3 月は、仕事内容習得期間とし、この間の習得度次第で落選もありえますことご了承願います。

【重要】講師候補・講師登用試験の受験希望者はスタッフ会員に登録すること。2022年度以降、スタッフ割引は適用されるが、講師登用試験を受験する際は受験料を納める必要があります。

3) スタッフの選抜方法

HP・ブログなどで募集要項を確認いただき、立候補申請していただきます。スタッフ会員立候補者が定員オーバーした場合は、以下の優先順位にて選定させていただきます。

- 1) 実務能力優先。
- 2) ここ数年の定例会出席率
- 3) 面接

4) スタッフ会員の募集について

毎年度秋頃に定例会およびHP上にて募集いたします。

尚、定員数については、前年と異なる部署や、新設される部署があるかもしれません。募集の際にお知らせいたします。

4. 北辰会指定図書・推薦図書

★のついた書籍は北辰会指定図書です。◎のついた書籍は書籍部で取り扱っています。

A 基礎理論

- A-① ★◎『臓腑経絡学』 藤本蓮風監修 アルテミシア 改訂第三版
- A-②『基礎中医学』 神戸中医学研究会 燎原
または、『針灸学 基礎編』東洋学術出版社
- A-③『詳解中医基礎理論』東洋学術出版社
- A-④『中医基本用語辞典』東洋学術出版社または、『中国漢方医語辞典』中国漢方
- A-⑤『实用中医内科学』 上海科学技術出版社
または『中医内科学』 人民衛生出版社 などの中医内科学
- A-⑥『中医婦科学』 人民衛生出版社
- A-⑦『中医児科学』 人民衛生出版社
- A-⑧『中医眼科学』 人民衛生出版社
- A-⑨ ★『北辰会方式 実践編 改定新版』藤本蓮風監修 (一社)北辰会 【絶版】
★◎『鍼灸臨床能力 北辰会方式 実践編』 藤本蓮風監修 (一社)北辰会 緑書房
- A-⑩ ★◎『鍼灸臨床能力 北辰会方式 理論編』藤本蓮風監修 (一社)北辰会 緑書房

B 医学史

- B-①『中国医学の歴史』東洋学術出版社
- B-②『中国医学思想史』石田秀実 東京大学出版会
- B-③『医学の歴史』小川鼎三 中公新書
- B-④『中国名医列伝』吉田荘人 中公新書
- B-⑤『日本医学史綱要1、2』富士川游 東洋文庫
- B-⑥『中医伝統流派の系譜』黄煌著／柴崎瑛子訳 東洋学術出版社

- B-⑦『日本医療史』 新村拓 編 吉川弘文館
 B-⑧『歴史の中の病と医学』 山田慶兒／栗山茂久 共編 思文閣出版
 B-⑨『中国鍼灸各家学説』 魏稼 主編 浅川要ほか翻訳 東洋学術出版社

C 問診

- C-①『中医診断と治療』上下巻 神戸中医学研究会編訳 燎原
 または、『中医症状鑑別診断学 第2版』 人民衛生出版社
 C-② ★◎『鍼灸における実践から理論へ（Ⅰ）（Ⅱ）』藤本蓮風 谷口書店
 C-③『中医診断学』 人民衛生出版社
 C-④『人体排出物異常証診断と治療』 張介眉 主編 中国医薬科技出版社
 C-⑤『中医診断学ノート』 内山恵子 著 東洋学術出版社
 【新刊】C-⑥『筆跡にみる心の變』 藤本蓮風 著 たにぐち書店

D 体表観察

- D-① ★◎『鍼灸における実践から理論へ（Ⅰ）～（Ⅳ）』藤本蓮風 谷口書店
 D-② ★◎『胃の気の脈診』 藤本蓮風 森ノ宮医療学園出版部
 D-③ ★◎『弁積鍼道秘訣集』 藤本蓮風 緑書房
 D-④ ★◎『針灸舌診アトラス』藤本蓮風 平田耕一 山本哲斉 緑書房
 D-⑤ 『死生要訣』 石原保秀 編 医道の日本社
 D-⑥ ★◎『体表観察学』 藤本蓮風 緑書房
 D-⑧ ★◎『上下左右前後の法則』 藤本蓮風 メディカルユーコン
 【新刊】D-⑨ 『舌鑑弁正 訳釈』 藤本蓮風 たにぐち書店

E 弁証

- E-①『中医弁証学』 東洋学術出版社
 E-②『中医病因病機学』 東洋学術出版社
 E-③ ★◎『弁証論治のための論理学入門』堀内齊賢龍 緑書房

F 腧穴学

- F-① 『藤本蓮風 経穴解説』 メディカルユーコン
 F-② 『針灸経穴辞典』 東洋学術出版社
 F-③ 『中国針灸穴位通鑑』（上下巻） 青島出版社
 F-④ ★◎『藤本蓮風 経穴解説 増補改訂新装版』 新刊 メディカルユーコン

G 方剤学・方薬学

- G-①『中医臨床のための方剤学』神戸中医学研究会 編著 MD P
 G-②『常用漢薬ハンドブック』 神戸中医学研究会 編 MD P
 または、『中医臨床のための中薬学』神戸中医学研究会 編著 MD P

H 養生指導

- H-①『口語養生訓』 貝原益軒 日本評論社
 H-②『食物本草』 中村璋八 佐藤達全 明德出版社
 H-③『東方栄養新書』 梁 晨千鶴 メディカルユーコン

I 症例、講義録など

- I-① ★◎『ほくと』 第1号～72号
 I-② ★◎『順雪』 vol. ① ② ③
 I-③ ★◎『アレルギーは鍼で治す』 森ノ宮医療学園出版部
 ★ ◎ 『泰山』Vol.1～8 北辰会出版(会員限定)

— その他 —

- ★『臨床と古典(1)』 藤本蓮風 (社)北辰会 【絶版】
 ★ ◎『鍼の力』 藤本蓮風 緑書房
 ★ ◎『内経気象学入門』 橋本浩一 緑書房
 ★『鍼1本で病気がよくなる』 藤本蓮風 PHP 【絶版】
 ★ ◎『東洋医学の宇宙～太極陰陽論で知る人体と世界～』 藤本蓮風 緑書房
 ★『鍼狂人の独り言』 藤本蓮風 メディカルユーコン 【絶版】
 ★『臨床というもの』 藤本蓮風 たにぐち書店
 ★『日本鍼灸の診断学』 森洋平共著 メディカルユーコン
 ★ ◎『数倍生きる』 藤本蓮風 探究社
 ★ ◎『陰陽論 ～基礎と応用～』 藤本蓮風 橋本浩一 神野英明 (社) 北辰会
 『傷寒雑病論』 東洋学術出版社
 『意積傷寒論類編』 築地書館
 『意積医経解惑論』 築地書館
 『現代語訳 奇経八脈考』 東洋学術出版社
 『気思想』 東京大学出版会
 『黄帝内経素問』(上・中・下) 東洋学術出版社
 『黄帝内経靈枢』(上・下) 東洋学術出版社

☞ 当会書籍部にて、◎印のついた書籍の販売を行っております。本部定例会会場もしくは、北辰会 HP ネット書籍販売もご利用ください。

5. 定例会・研修会への参加について

◇北辰会定例会・研修会に参加するにあたっての最低限のマナー

- ① 会員は必ず会費を期日までに納めること。
- ② 遅刻した場合は、途中入室せず、次の休憩時間まで入室しない。
- ③ 講義中、実技中は、音の出るものは出ないようにする。
- ④ 講義資料のコピーおよび転売はしない。
- ⑤ 自分の出したゴミは必ず各自で持ち帰る。

※実技に参加される女性の受講生の皆様へ

背候診や腹診の実技では、被験者になる場合は衣服をまくりますので、タンクトップ着用等、各自で工夫をお願いいたします。

◇Vimeo・ライブ配信動画の視聴について

Vimeo 及びライブ配信動画の視聴については、以下のリンクをご参照ください。

・カリキュラム

<https://hokushinkai.info/curriculum/curriculum1>

<https://hokushinkai.info/curriculum/curriculum3>

・ツイキャスライブ配信視聴マニュアル

<https://hokushinkai.info/images/images/twcasman.pdf>

・Vimeo 動画視聴マニュアル

<https://hokushinkai.info/news/elman>

6. 研修と見学

育成運営部

1) 藤本漢祥院での研修および見学

藤本漢祥院での研修・見学とは北辰会方式最高峰の臨床に触れる、ということです。全ての会員の皆様は下記内容に従って是非積極的にご参加ください。また蓮風会長の治療を受ける、ということも大いなる学びとなります。

※治療も希望される場合には研修・見学申し込み時に必ずその旨を教えてください。

※漢祥院の予約状況により必ず受診出来るとは限りません。

※藤本蓮風院長の判断により見学・研修を中止して頂く場合があります。

◇定期研修について

1. 藤本漢祥院の研修は原則として北辰会に入会して2年以上学習した方を対象とし、講師職の者が最優先され、次にスタッフ会員が優先されます。

2. 正講師>准講師>医師>運営委員・スタッフ会員(役職付)>講師候補>スタッフ会員>一般会員の順に選抜され、毎年4月に更新されます。次年度の藤本漢祥院定期研修については前年度の1月にご案内いたします(本部・支部共に)。

※藤本蓮風会長の許可がおりれば、入会年数を問わず全ての会員が藤本漢祥院での研修を受けることができます。

◇見学について

1. 藤本蓮風会長の許可がおりれば入会年数を問わず全ての会員が藤本漢祥院を見学できます。

見学希望の方は希望見学日の2週間前までに下記担当までお問い合わせください。

2. 指定治療院の研修生は年間4回以上藤本漢祥院を見学することを条件とします。
3. 非会員の見学は、藤本蓮風会長の許可があった者に限り漢祥院の見学ができます。
* 非会員は藤本漢祥院以外の治療院の見学は許可されません。

4. 見学時間

【午前診】

7:40 までに白衣に着替えて1F廊下に集合。→12:00 まで。※水曜は10:00 まで。

※状況により遅くなる場合あり

【午後診】

16:40 までには白衣に着替えて1F廊下に集合。→19:00 まで。

※不定期研修生・見学生については、研修日2週間前の時点で締め切り、人数枠を超える場合は、優先順位で上位の方（正講師＞准講師＞講師候補＞スタッフ会員＞一般会員）から受付いたしますので、予約を頂いていてもご希望に添えない場合があります。その場合は、1週間前までにこちらからご連絡させていただきます。希望日の1週間前までに返信がない場合は、お手数ですが藤本漢祥院まで電話にて確認をお願いいたします。優先順位が同等の場合は、特例（院長の特別許可、遠方・海外の先生、Dr）を除き先着順に受付いたしますので、会員の皆さんは出来るだけ早めに下記担当まで見学の希望をメールにて出してください。

5. 見学生で、かつ治療も希望される先生は、“必ず見学の申込みの際に”その旨をお伝えください。

藤本漢祥院 見学担当宛

E-Mail : info@f-kansyouin.co.jp

※お急ぎのご用件がある方のみお電話にてご連絡ください。

電話 : 0742-43-8130 藤本漢祥院

2) 当会指定治療院での研修について

《当会指定研修生受け入れ治療院》

[本部]

- ◆藤本玄珠堂 [藤本新風] <http://www.genshudo.com>

※藤本新風代表の承認を得た会員は、会員在籍年数に関係なく、藤本玄珠堂で研修・見学を受けることが出来る。

[関東支部]

- ◆蒼天堂治療院 [尾崎真哉] <https://ss1.xrea.com/soutendou.g2.xrea.com/>
- ◆清明院 [竹下有] <http://seimei-in.com>

注意！

- 1) あくまでも会員の研修が目的で、従業員としての雇用ということではありません。
- 2) 北辰会で見学・研修が出来るのは藤本漢祥院か上記に示す指定治療院のみであり、それ以外の治療院の見学・研修は出来ません。

1. 会員(原則として入会して 2 年以上経つ者)は、指定の研修受け入れ先責任者と面談・交渉の上、理事会の承認を得て、治療所研修に参加出来ます。
2. 指定治療院での研修に参加する場合は年間 4 回以上藤本漢祥院を見学することを条件とします。
3. 研修期間は最低 1 年とします。
4. 受け入れ先責任者と面識がある場合には、所定の用紙に必要事項を記入し、スキャナ及び携帯カメラ、デジタルカメラで撮影したものを文字が読み取れる解像度の画像ファイルとして E-Mail に添付して下記当会本部事務所まで送信ください。
 ※受け入れ先院長と面識がない場合には、北辰会事務所までご相談ください。
 ※研修・見学先の院長の判断により見学・研修を中止していただく場合があります。

3) 当会指定治療院での見学について

《当会指定見学者受け入れ治療院》

[本部]

◆藤本玄珠堂 [藤本新風] <http://www.genshudo.com>

※藤本新風代表の承認を得た会員は、会員在籍年数に関係なく、藤本玄珠堂で研修・見学を受けることが出来る。

◆和クリニック [村井和] <https://kazuclinic.jp>

◆風胤堂 [油谷真空] <http://fuindou.com>

◆輝鍼灸院 [原元氣] <https://kagayaki-shinkyu.com>

◆鍼灸 大仙堂 [山本克仁] <http://daisendou.com/#1>

◆桂翔院 [足立尚哉] <http://keishouin.com>

[関東支部]

◆心月院 [坂井祐太] <https://shingetsuin.net>

1. 会員(あるいは非会員であっても)は指定の見学受け入れ先責任者と面談・交渉の上、理事会の承認を得て、治療所の見学が出来ます。
2. 指定治療院の見学を希望される場合には、藤本漢祥院の見学経験があることを条件とします。
3. 藤本漢祥院、藤本玄珠堂以外の治療院では、基本 1 回の見学のみとします。
4. 受け入れ先責任者と面識がある場合には面談後、所定の用紙に必要事項を記入し、スキャナおよび携帯カメラ、デジタルカメラで撮影したものを文字が読み取れる解像度の画像ファイルとして E-Mail に添付して当会本部事務所まで送信ください。
 ※受け入れ先院長と面識がない場合には、北辰会事務所までご相談ください。
 ※研修・見学先の院長の判断により見学・研修を中止していただく場合があります。

(一社) 北辰会 事務所 E-Mail : books@hokushinkai.info

〒 543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町 5-2-11 上六新興産ビル 202

TEL : 06-6711-0218 FAX : 06-6711-058

7. 見学・研修を希望される皆様へ

育成運営部長 山本克仁

北辰会では“秘伝なし”としており、ご存知の通り定例会の講義・実技を通じて開示しています。向学心旺盛な会員の皆様は、定例会や書籍で学ぶ内容が、実際の臨床の現場で如何様に活かされているのかを学びたいと思い、見学や研修を希望されることと思います。まず、以下の2点をしっかり踏まえてください。

見学先あるいは研修先の臨床現場とは…

「訪れる患者さんが“癒されたい”と思って訪れる場」であり、
かつ「見学を受け入れてくださる先生の“真剣勝負”の場」なのです。

見学であれ研修であれ、その治療院にいて白衣を着ている限り、
患者さんから見ればあなたも“先生”であることをしっかり認識することです。

見学のコツ・お作法

① 術者やスタッフの動きの邪魔にならないように意識・工夫しましょう。

普段は先生あるいはスタッフの共同業務により完結しているため、見学者が入ることにより空間的に動きにくくなる可能性があるのです。

② ベッドサイドでの立ち位置に注意しましょう。

患者さんの視野にあまり入らないほうがよいですね。特に女性の患者さんが仰臥している場合、足元側から覗き込むのはよくありません。また、女性の患者さんが座位で背候診を受けている場合は患者さんの前に立たないように。子供の患者さんの場合は頭側から覆いかぶさらないように。

③ KYにならないように注意しましょう。

この場合のKは“気”ですね。

術者と患者さんの間には見えない“気の交流”があるものです。わかりやすく言えば、術者の気配りとそれに呼応する患者さん…その“気の交流”があつてこそその治療であり、その治療院と患者さんを結び付けている力といえます。また、ここに定例会では学べない臨床見学の醍醐味があるといえましょう。

臨床家と患者さんとの関係はいかにあるべきか、しっかり学んでください。

研修のコツ

研修生は原則入会して2年以上の会員の方々です。

この段階では先ほどの“見学のコツ・お作法”は十分踏まえておられるはず…ゆえに、お作法は省き“コツ”のみご紹介いたします。

① 目的意識を持って研修に臨みましょう。

漫然と研修に臨むのではなく、常に目的意識を持つことがより効果的な研修になります。

定期的に研修に通っているとただ「研修に行っているから安心」…と、なりがちです。受け入れてくださる先生はそういった姿勢もよく見られているものですよ。

② 先生やスタッフの呼吸、身のこなしに学んでください。

あなたがもしベッドブース内や治療室内で、先生やスタッフと頻繁にぶつかりそうになるなら、まだ研

修先の治療院で必要な“息づかい”が出来ていない、ということでしょう。『靈枢』九針十二原にある

「知機之道者、不可掛以髮、不知機道、叩之不發。」にも通じることです。意識してみま

③ 最低でもカルテ記載出来る様になっておきましょう。

単に後ろに立っているよりも、先生がどういった意図で問診をし、どう体表観察とリンクさせているのか、歴然と理解できるようになるでしょう。(理解できるレベルまで学習が進んでいなければなりません…)

④ 常に手は温かくしておきましょう。

患者さんによって、またあなたのレベルによっては脈あるいは経穴等の反応を診るよう指示があるかもしれません。いつでも対応出来るよう手を温めておきましょう。常に“私も診療しているんだ”という気持ちで臨むことが大切です。白衣を着て治療院にいれば、あなたもその治療所の“先生”なのですよ。

⑤ お灸の手伝い出来るよう、腕を磨いておきましょう。

北辰会方式での再診は鍼だけであれば、さほど時間がかかりません。ですがお灸の場合は患者さんによって“左右整えの灸”を行う場合、非常に時間がかかる場合があります。先生の許可が出てお灸を任されるようになれば、お灸の前後で脈診が出来る場合があります。たいへん勉強になりますよ。

ささやかではありますが、見学・研修のコツとお作法について紹介しました。

まだまだお伝えしたいことがあります、

一般社会人の常識と上記したことを踏まえて頂ければ、

受け入れてくださる先生も見学あるいは研修させていただくあなたも

気持ちよくその時間を共有できると思います。

研修 申請書

(一社) 北辰会 理事会 御中

私は、北辰会方式の習得および将来の後進指導のため、下記研修施設において研修の定義・研修規約に従い研修することを希望いたします。

【研修の定義】

実際の臨床の場において、患者に接し、問診や切診、施術を、指導者のもとで行い、研鑽することをいう。

【研修規約】

- * 研修期間は最低1年とする。
- * 受け入れ先責任者に従い研修する。
- * 指導者の許可のもと、治療、問診、施灸、カルテ記載の補助は、研修の一環とする。
- * 指導者が前記以外の業務を研修の一環として希望する場合、あるいは研修者が自らの望む場合は理事会の許可を得た上で行う。(指導者の責任)
- * 無報酬である。
- * 研修先の患者さんのプライバシーは必ず遵守すること。
- * 受け入れ先責任者の判断により、研修中止となる場合がある。

研修先 施設名

研修日時および期間：() 曜日 午前・午後 時～ 時
西暦 年 月 日 ～ 年 月 日迄

研修生 氏名

_____ 印

研修生 連絡先

研修生 メールアドレス

研修生入会年月

西暦 年 月

申請日 年 月 日

指導者 氏名

_____ 印

見学 申請書

(一社) 北辰会 理事会 御中

私は、北辰会方式の習得および将来の後進指導のため、下記の指定施設において見学規約に従い見学することを希望いたします。

【見学の定義】

臨床現場を見て学ぶのみ。

※研修と違い治療院の業務に関わる必要はない。

【見学規約】

- * 受け入れ先責任者に従い見学する。
- * 見学先の患者さんのプライバシーは必ず遵守すること。
- * 受け入れ先責任者の判断により、途中で見学を中止することがある。

見学先 施設名

見学年月日：

西暦 年 月 日 () 曜日

見学者 氏名

_____ 印

見学者 連絡先

見学者 メールアドレス

見学者 入会年月

西暦 年 月

申請日 年 月 日

受け入れ先責任者 氏名

_____ 印